

◆仕訳データ (PCA会計8形式)

メニューの「日常帳票」→「仕訳伝票発行・チャエックリスト」|「仕訳帳」で出力できます。
 ※「印刷等の条件指示」画面で「汎用データバージョン」を「PCA会計8形式」を選択した場合
 ※「操作編1」→「日常帳票」→「仕訳伝票発行・チャエックリスト」の注意事項も合わせてご覧ください。

項目	桁数	型	必須項目	備考
Ver.	6	文字列		#2が出力されます。
伝票日付	8	数字	○	西暦日付 (例: 20110401)
伝票番号	5	数字	○	1~99999
計算区分	1	数字	○	自動税計算区分。 0: 税計算なし、1: 内税自動計算、 2: 外税自動計算 ※「消費税計算モードを自動設定する」にチェックが付いている場合は、入力プログラム区分により以下のように入受を行います。消費税計算モードが設定されている汎用データは選択した消費税計算モードに変更されて受け入れます。 ・入力プログラム区分が「部門配賦入力(HAIFU)」の場合→選択に関わらず、「税計算なし」を設定して受け入れます。 ・入力プログラム区分が「部門配賦入力(HAIFU)」以外、または設定されていない場合→選択した税計算モードを設定して受け入れます。
仕訳区分	2	数字		11: 月初、21: 月次、31: 決算1、 32: 決算2、33: 決算3
管理会計仕訳区分	1	数字		0: 通常仕訳、1: 管理仕訳区分1、 2: 管理仕訳区分2、3: 管理仕訳区分3、 4: 管理仕訳区分4、5: 管理仕訳区分5
借方部門コード	6	文字列	○	
借方科目コード	10	文字列	○	
借方科目名	全角7 半角14	文字列		
借方補助コード	10	文字列	○	
借方補助名	全角7 半角14	文字列		
借方税区分	2	文字列	○	※「デフォルトの税区分を設定する」にチェックを付けると、入力プログラム区分により以下のように入受を行います。税区分が存在しない汎用データを受け入れる際などにチェックを付けてください。 ※税区分が設定されている汎用データについて、デフォルトの税区分に変更されて受け入れます。 ・入力プログラム区分が「部門配賦入力(HAIFU)」の場合→税区分に「00」を設定して受け入れます。 ・入力プログラム区分が「部門配賦入力(HAIFU)」以外、または設定されていない場合→仕訳に補助科目が存在すれば補助科目の税区分、そうでない場合は勘定科目の税区分を設定して受け入れます。税区分は「補助科目名・期首残高」「科目名・期首残高」でそれぞれの科目に設定されている税区分です。

借方金額	12	数字	○	
借方消費税額	11	数字	○	消費税額が0の場合、税抜き集計では消費税額は出力されません。
借方部門コード	6	文字列	○	
借方科目コード	10	文字列	○	
借方科目名	全角7 半角14	文字列		
借方補助コード	10	文字列	○	
借方補助名	全角7 半角14	文字列		
貸方税区分	2	文字列	○	※借り方税区分と同じ
貸方金額	12	数字	○	
貸方消費税額	11	数字	○	消費税額が0の場合、税抜き集計では消費税額は出力されません。
数字1	6	文字列		
数字2	23	文字列		
摘要	256	文字列		
入力プログラム区分	8	文字列		入力処理によって異なります。 「振替伝票入力 (コクヨ形式)」: 決算整理仕訳入力 (コクヨ形式): KOKUYO 「振替伝票入力 (連想摘要)」: 決算整理仕訳入力 (連想摘要): RENSOU 「現金出納帳入力»: GENKIN、 「現金通帳入力»: YOKIN 「帳簿入力»: TYOUBO、 「取引合計入力»: SSAN 「部門配賦入力»: HAIFU 「仕訳データの受入»: HANYOU 「給与データの受入»: KYUYO
配賦税計算モード	1	数字		0: 税抜、1: 税込
配賦元集計開始日	8	数字		西暦日付 (例: 20110401)
配賦元集計終了日	8	数字		西暦日付 (例: 20110401)
配賦基準番号	2	数字		0: 使用しない、1~10: 基準番号1~10
配賦元部門コード	6	文字列		
配賦元科目コード	10	文字列		
配賦元補助コード	10	文字列		
配賦元金額	12	数字		
CRLF(0X0D/0X0A)	2	文字列		